

令和2年度 第1回 三種町総合教育会議議事録

- | | | | | |
|---|------|------------------------------|-------|------------|
| 1 | 開催日時 | 令和2年11月13日（金）午後3時00分 | | |
| 2 | 開催場所 | 琴丘地域拠点センター 研修室 | | |
| 3 | 出席者 | 三種町 | 町長 | 田川 政幸 |
| | | 三種町 | 副町長 | 檜森 定勝 |
| | | 三種町教育委員会 | 教育長 | 鎌田 義人 |
| | | | 委員 | 水野 京子 |
| | | | 委員 | 佐々木 孝一 |
| | | | 委員 | 藤田 良博 |
| | | | 委員 | 工藤 智穂子 |
| 4 | 欠席者 | なし | | |
| 5 | 事務局 | 教育次長 | 後藤 誠 | 次長補佐 鎌田 誠 |
| | | 次長補佐 | 大高 博充 | 次長補佐 木村 将来 |
| | | 主席主査 | 児玉 知済 | |
| 6 | 傍聴者 | 1名 | | |
| 7 | 協議案件 | 1) 三種町立小・中学校の在り方「意見書」の承認について | | |
| | | 2) 学校再編について（今後の進め方等） | | |

午後 3 時 0 0 分開会

後藤次長 定刻となりましたので、令和２年度、第１回三種町総合教育会議を開催します。はじめに町長より、ご挨拶をお願いします。

田川町長 本日は、大変お忙しい中、本年度第１回目の総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。また、日頃から町の教育行政については貴重なご意見やご提言をいただいておりますことに対しこの場を借りてお礼申し上げます。先の総合教育会議において、皆さんから方針についてお話をいただいたものを踏まえて、今回、小・中学校の在り方検討懇談会において、関係する皆さんからご検討いただきました。その意見書が先日、教育長に手渡されております。この会議録も見させていただきましたが、大変貴重なご意見があり、学校だけではなく、まちづくり、町としての体制もしっかり考えた上で学校づくりも考えていかなければならないと言った意見もございました。こうした意見をしっかりと踏まえて皆さんと学校の再編に向けて具体的な協議をしていかなければならないと考えておりますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただいて、期間もあまり残されておりませんけれども、しっかりとした再編計画を練っていきたいと考えておりますので、ご協力いただければありがたいと考えております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

後藤次長 ありがとうございます。続いて教育長よりご挨拶をお願いします。

鎌田教育長 第１回目の総合教育会議の開催、誠にありがとうございます。
町長のお話にもありましたように、意見書は大変子供達の将来を考えた良い内容だと思いました。今日はこの意見書について慎重審議して、ぜひこの総合教育会議で承認していただければ、私たち教育委員会と

して次に進めていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い
いたします。

後藤次長 ありがとうございます。それでは、ここからの議事進行を、町長
よりお願いします。

田川町長 はい。それでは次第の4番に入ります。議事録署名委員の指名でご
ざいますが、当職から指名してよろしいでしょうか。

出席者全員 異議なし。

田川町長 それでは、水野委員をお願いします。

田川町長 それでは協議事項に入ります。
1) 三種町立小・中学校の在り方「意見書」の承認について
事務局より説明をお願いします。

＝事務局説明＝

意見書の内容について「意見書」を読み上げ説明。

＝事務局説明終わり＝

田川町長 事務局より説明がありました。これについて、ご意見等ございま
すか。教育委員の皆さんもアドバイザーとして検討会に入っていて、内
容を確認していらっしゃると思いますが。

水野委員 はい、そうです。

田川町長 それでは、承認してよろしいでしょうか。

出席者全員 異議なし。

田川町長 それでは、三種町立小・中学校の在り方懇談会の「意見書」について承認いたします。

田川町長 続きまして、協議の２、学校再編について、今後の進め方等、事務局から案がございますので説明をお願いします。

木村補佐 私より、教育委員会案についてご説明いたします。なお、本日この会議の前に定例教育委員会を行いまして、その中で内容について検討したものでございます。

 本会議において今後の進め方の方向性を出していただければ次の計画につなげていきたいと思います。よろしくお願いします。

＝事務局説明＝

「資料のとおり説明」

＝事務局説明終わり＝

田川町長 それでは教育委員会より説明がありました、意見書の報告と学校再編計画の策定、この部分までについて皆さんよりご意見をいただきたいと思います。

鎌田教育長 今説明がありましたが、２回目の総合教育会議をお願いし、そこで再編計画を承認していただいてから住民への説明に移りたいと思い

ますのでご了解いただきたいと思います。

田川町長 これは、策定した後、住民に説明を先にするのが良いか、議会にする方が良いか、どちらが良いと思いますか。

木村補佐 定例教育委員会で話し合ったところでは、説明会で住民から出た意見も議会に報告をした方が良いかと考えています。

鎌田教育長 2月15日に全員協議会が予定されていますので、それまでに住民説明会を終わらせて議会に報告しなければならないと思っています。

田川町長 11月議会の全員協議会で、そのスケジュールも説明した方が良いと思うので対応をよろしくお願いします。

木村補佐 1月20日あたりを目標に総合教育会議を開かせていただいて、計画が承認されましたらすぐ、住民説明会を開催し、日程も連続することになると思いますが、3地域の公民館などで開かせていただきたいと検討しているところです。

藤田委員 いずれ、学校再編計画、その策定する内容がどれくらいの内容になるかということが、その後大きな影響を及ぼしていきだろーと感じています。12月から策定作業に入ることでありましたので、皆が納得できるような形で進めていければ良いと感じております。

田川町長 確かに時間はそれほど多くないので、慎重にスピーディーにやらなければならないということで大変な作業になると思いますがよろし

くお願いします。

水野委員 このタイトな計画でいくと、12月の時点ではある程度決まっています、1月に決定ということになっていくと思いますが、今日の会議ではあまり踏み込まないんですね。

例えば、計画では中学校は一校になるわけですから、一体どこが計画に上がっていて、どこが有力で、こうですよ町長、みたいな内容がここで決まっていれば、今後進めやすいのではないかと思います。そういう踏み込んだところは今日話さないですか。

田川町長 今すぐ、はいわかりましたとは思いますが、逆に言ってもらえれば、構想をどこまで具体的に盛り込めるかというのは大事だと思います。確かに年次で区切られてきますので、何年に目標があるということはそれまでに計画していかなければいけないし、当然、子供やPTAの皆さんに、年度を示さなければならない部分もありますので、そこはやっぱり、こうやって出た以上はしっかり、かなり詰めて説明しなければならないと思っています。

佐々木委員 これまでも色々な答申や意見書という形で出されてきてはいましたが、今回、年度という形で、本当に具体的な、7年という意見が出てきたんですよ。私は非常に良い意見書が出てきて、これが一つのバイブルとなって、一つの目標となって、当然スケジュールもありますので、それに沿ってやっていかなければいけないし、これからですね、細かいところに行けばいくほど大変になってくると思うのです。

ただ、こういう年度等が入ってきたことによって懇談会では委員の方々がそれぞれ検討した中から出てきた意見でありますので尊重し

ていかなければならないと思います。もちろん、ここに書いているように地域の校舎の廃校とか、地域振興ですね、その部分も十分考えていかなければ、教育委員会だけでなく町全体が関わってやっていかなければならないと思います。

いずれ今回これほどの意見書が出てくるとは思っていなかったんですよ。それほど画期的な意見書になったかなと感じています。

田川町長 他にご意見ありませんか。工藤さんいかがですか。

工藤委員 1月下旬に住民説明会を行うということであれば、住民の皆さんははっきりとした返答がいただけるという確信でそこに集まってくると思います。そこに、きちんと答えられる体制。「ここはまだ決まっていません。」、「ここはちょっと待ってください。」では説明会の意味がなくなってしまうので、そこら辺の計画をはっきりして持っていくのが大事かなと思っています。

田川町長 そうですね。いずれ非常にタイトな日程になっていくと思います。事務局の皆さんには大変ご難儀かけますが、皆さんに示せる良い計画というか叩き台を作って欲しいなと思います。よろしくお願いいたします。

田川町長 それでは次に令和3年度からの準備等について事務局よりお願いします。

＝事務局説明＝

木村補佐が意見書の内容について次第資料に基づき説明。

○令和３年度の準備等について（当初予算要求・補正予算要求を検討）

①学校再編の準備委員会・学校再編検討委員会等の開催

再編についての具体的な日程、校舎（建設方法・場所）、児童生徒への対応（送迎・交流等）等についてＰＴＡ、自治会、教育関係者からなる準備委員会等により検討を行う。

意見書にある新校舎建築となった場合＝基本設計に反映させ（補正要求等での対応を検討）で新しい学校づくりを提案する。

※検討課題

- ・放課後児童クラブの対応・準備委員会は小学校や保護者の準備のために早い段階での話し合いが必要である。等

児玉主席主査がエアコン整備計画について次第資料に基づき説明

②各小中学校の猛暑対策（エアコンの整備）について

- ・６月議会の質問に対し、補助金等を活用して令和４年度の実施予定で計画中であること。再編計画をつくり設置していく方向であることを答弁。（次長・町長）
- ・新型コロナウイルス対策の臨時交付金事業を活用し本年度中に整備検討。

その他 教育委員会予算（１２月補正・当初予算要求での検討）

＝事務局説明終わり＝

田川町長

ありがとうございます。それではただいまの説明について、皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思います。

藤田委員

令和３年度の準備についての、検討課題の一つ目なんですが、放課後児童クラブの対応について、教育委員会の管轄ではないので話はしておりませんが、ここに載っていますのでちょっとお話ししたいと思います。私は民生委員にも関係してまして、その中の児童部会で森岳小の放課後児童クラブの現状を訪問させていただいて実際見てき

たのですが、今はコロナということもあってそんなにギュウギュウ詰めではなかったですけども、定員からするとかなり狭い。そういう状況にあって民生委員山本支部ではこの課題をなんとかしなければいけないと感じているところです。

これは福祉課の方にしなければいけない話かもしれないのですが、学校とは非常に深い関係がありますので。八竜では学校施設を活用してということもあるのですが、森岳小学校は難しいところもあるかわかりませんが、なんとか知恵を出して少しでも改善できたらと思います。下岩川小も入って来て将来は金岡小もとなった時に今から考えておかなければならないことなのかなと感じております。すみませんこの中に出て来ましたので少しお話しさせていただきました。

田川町長 次長はどうですか。

後藤次長 今、各学校の状況を確認しているところですが、特に森岳小学校の場合では普通教室が1階にないんですね、来年度、下岩川小学校が入ってくる前にどうすべきか、というところを学校ともお話ししながら、学校施設の改修、整備等も絡んでくると思っています。

その辺りをどうするかということを、庁議の中では、再編が決まった後に、早くに児童クラブの所管を教育委員会に移行したいという考えも出されているので、その辺も踏まえて、何が一番最善策かなというところを詰めていかなければならないと思っています。

鎌田教育長 湖北、浜口のように学校の中に入れば良いんだけど、森岳小の学校の内容からいけば、いま次長が言ったように1階に余裕教室がないんですね。

藤田委員 森岳小学校の校舎配置図を見ると確かに普通教室は1階になくて、音楽室と理科室になっています。では2階はどうかとなれば、教材室とコンピューター室。どうしても2部屋は必要かと思うので、もし2階にしようとなれば、コンピューター室を動かさなければならないような感じですね。そもそも1年生も2年生も2階に教室あるので、そこら辺もどうかと思いました。中々窮屈な印象です。

鎌田教育長 学校が無理であれば今の所に足すとか。能代は第四小のところに新しく建てました。

藤田委員 今の施設は借りている場所なので、増設することができないという話でした。他の場所に建てる案も、学校から遠くなってしまったり、出口がない状況です。

田川町長 そうですね、色々な課題があります。今後検討していくということによろしいでしょうか。

藤田委員 よろしくお願いします。

田川町長 他にご意見はございますか。

水野委員 中学校を新しく建てる時に、どこにするとか、どうやって作るかということを再編検討委員会で話し合うという理解でいいですか。
再編計画の中でそういうことが決まっているというのではなく。
すみません私の理解不足で確認させてください。

木村補佐 今回提案の今後の予定のところは案でございますので、揉んでいただければと思います。

今のところの考えとしては、検討委員会なりの会議で決める。その中に教育委員会としての案を資料でお示しし、それについて意見をもらったかどうかと思っています。

場所については検討懇談会でも資料でお示しして、会議の中で各地域に分かれて行った分会で話をしていただいたこともございます。その時は、1校ずつとなった場合は、やはり距離とか通学手段が重要になってくるだろうということで、それぞれの中学校を起点とした場合の距離等の資料を出したことがありました。距離や通勤手段がどうかという資料を出してお話しをしてもらったのですが、最終的には検討会等で決めていただいた方が良いのではと思っています。

水野委員 できればそこら辺自分の頭でクリアにしたいです。

1月に計画を立てます。住民説明会をします。その段階で例えば中学校の1校に関しては相当な、いつ頃迄にはどこに建てます。校名は。と言ったようなことが決まっているということでしょうか。

佐々木委員 そういう事が決まっていないと、基本設計ができないと思うのですよ。中学校の場合、令和7年に建てるとすればですね、極端に言えば、令和3年中の早い段階で、どこにするのか決まった段階で基本設計にいくのだと思うのですよ。ですからそこで時間がかかるようですと令和8年に開校というのは難しくなってくると思います。

水野委員 だとすると、今から住民から意見を聞くだとか、これから吸い上げ

るというのではなくて、ある程度ここで方向づけをするというのがいいのではないのでしょうか。この2ヶ月後には決まるというイメージでよろしいですか。

佐々木委員 はい、ただ、中学校の場合は、我々だけで決めて良いものでしょうか。

田川町長 通学距離や色々とあって、町としてどこの地区までは絞らざるを得ない。そこからどこに建てるのか。そこまでは示さないと皆さんに説明しても。

鎌田教育長 平成20年の再編計画でも、中学校1校化の話が出て、町の中心。そういう表現しかできませんでした。それで今回の検討懇談会では距離を出したのですが、子供たちの通学の距離だとか根拠をしっかりとしていないと、色々な意見を聞いていたら話がまとまらないと思います。この間の会議でも、やはり自分の地元にという意見になってしまっている。

工藤委員 令和7年までに完成させなければとなると、もう決めないと。

藤田委員 再編計画の中に校舎の場所とかは、ある程度のところは示さなければならないという事です。再編計画の中身と、令和3年度にやる準備委員会、検討委員会の位置付け。何を準備、検討するのが整理しておかないと3年度に、またどこに建てるのかという話になり、また1からになってしまうということが懸念されるということです。ね。

水野委員 はい、きちんとしたビジョンを示していかないと説明会では混乱の元になると思うので、町長が今、この機会である程度ここですよというビジョンがあれば事務局で今後計画を立てるにあたっても進めやすいかなと思います。共通認識を持った方が良いのではないかなと思いました。

鎌田教育長 藤田委員もおっしゃいましたが、1月の計画策定までには、何をどこまでやるのか決めておかなければ。場所もありますしね。さまざまな事があります。

中学校校舎設置協議会。その次になれば中学校開設準備委員会と段々変わっていきます。今言ったようにどこまで決めるか、2月までどこまで、3年度はどこまでやって、準備委員会はどこまでやるのか、そのようなことはある程度示しておかなければ。

工藤委員 金岡も7年度ということになれば、小学校も決めなければならないですよ。新校舎を作るのか、金岡に入るのか、森岳に入るのかという話にもなりますよね。

鎌田教育長 3年度になれば、下岩川の会もなければならぬし、山本地域全体の会もなければならぬし、中学校もとなります。みんなの声を聞いてやるとすればですね。丁寧にやるとすれば。

水野委員 在り方検討懇談会の時も、方針を示してよという声が多かったですよね。言いたいというより、決まったらやるから早く決めてというような。

工藤委員 町としての意見が聞きたいというような。

水野委員 方針を決めた方が良いのでは。問題が起きれば当然そこで立ち止まらなければいけないということはある訳ですけれども。

田川町長 個人の意見として聞いて貰えばありがたいですが、やはり通学距離やそういったものを考えると山本地域だろうなと。上岩川や、追泊など、そういうところを考えると、それでも40分くらいはかかるのではないのでしょうか。これよりどちらかに傾くと1時間とかそれ以上という話になってきます。また、交通機関のことも考えれば山本地域に中学校があったほうが、中学生であれば電車通学も可能だと常々思っていて、それプラス学校校舎をどこまで使えるかというのがありますが、中学校と小学校を併用した形でグラウンドや体育館を共有するという自分の勝手な思いはあります。それが果たして良いのかは、まだ誰にも相談していない話なのですが。

 小学校は地域にひとつで山本は将来的に中学校に併設していくというイメージが私が一番良いと思っているのは確かです。それについて色々な条件もあるのでそこはこれから教育委員会とも相談しなければいけないし、当然子供たちのことなのでPTAの方たち、今はみんな送り迎えもするじゃないですか、そういう負担を少しでも減らせるような方向になれば良いと考えています。これは私の勝手な思いなので一つの意見として聞いていただければありがたいと思います。

水野委員 そこは懇談会でも距離を出して見ていただいた時、私も主観として山本地域と思いました。

また。さっき決定権はどこにあるのかといった時に、ここですということでしたので、それであれば、やはり意を決して押し出していかないといつ迄もという感じになるんじゃないでしょうか。

佐々木委員 場所はこの後検討委員会でやるにしてもまとまりきれないと思いますね。

田川町長 その辺りを説明できる理由を構築しておかないと。

藤田委員 意見書はかなり進んだ意見書になったと思います。

田川町長 財政の話をした中で、後ろを切られているというのを、懇談会の皆さんも意識しているんだというのも、会議録を見ると合併特例債という意見も出ていて、皆さん町の財政のことも心配して話をしてくれているんだと。説明の理由はちゃんとしなければなりません。皆さんの意見を無視するわけではないが、ある程度町で説得する形の説明も必要な局面にあるんだろうなと思います。

工藤委員 お願いして、理解してもらおうという。

田川町長 はい、そうですね。町の中心部といっても、行政の場所とか色々な捉え方があると思うので、通学手段も含め考えていただきたいと思います。

鎌田教育長 ここまでお話が出ましたので、場所に関してですが、これから町が土地を準備してというのは大変なことだと思います。ある程度学校の

敷地がどれくらいあるとか、そういうことも十分考えた場所を早めにこの会議で決めていただいて示していく。根拠をしっかりと理解していただく。そういう進め方が良いかと思います。

田川町長 責任ある発言で中々大変ですが、いずれにせよ年次が区切られて出てきた以上は、話をまとめていかなければならない。なんとか皆さんからご理解をいただきながら進めたいなと思います。

 議論の方は以上でよろしいですか。

田川町長 事務局の方から何か報告がありましたらよろしくお願いします。

後藤次長 事務局案を示したものを、これから進めていってよろしいかご審議いただければと思います。

田川町長 はい、2)の部分の進め方は、このとおり進めていくということでよろしいですか。

出席者全員 異議なしの声

田川町長 ありがとうございます。次に何かありますか。

副町長 エアコンは全て町単独でという方向で進んできていますが、例えば10年以上使わないと補助金の返還対象になってくるといった理由ですが、例えばこの琴丘小や湖北小など残る小学校は補助金を使うといった形で、補助金と町単独の予算を分けて計画できないですか。

後藤次長 補助金やコロナの交付金もあり、色々なやり方も考えられますので
財政担当と相談してみます。

田川町長 その他ありませんか。

出席者全員 ありません。

田川町長 以上をもちまして本日の総合教育会議を閉じたいと思います。どう
もありがとうございました。

(午後4時20分閉会)

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

三種町長

署名委員